

授業科目(ナンバリング)	ソーシャルワーク演習(社会) Ⅱ(DC204)			担当教員	野田 健・梅野潤子・裏 孝承		
展開方法	演習	単位数	1単位	開講年次・時期	2年・後期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
ソーシャルワークの知識と技術に係る他の科目との関連性を視野に入れつつ、ソーシャルワーカーに求められるソーシャルワークに係る知識と技術の統合を行い、専門的援助支援技術として概念化し、理論化し体系立てていくことができる能力を習得する。また、支援を必要とする人を中心とした分野横断的な総合的かつ包括的な支援について実践的に理解しながら、ソーシャルワークの対象課題と展開過程について理解する。							④⑤⑥⑦⑩
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	具体的なソーシャルワーク場面及びソーシャルワークの過程を想定した事例において、複合的な課題に対する総合的かつ包括的な支援について実践的に習得することができる。				課題レポート グループワーク	20% 10%	
情報収集、分析力	ソーシャルワーク事例における具体的な課題について、総合的かつ包括的なアセスメント及びプランニング、実行することができる。				小レポート グループ発表 グループワーク	20% 10% 10%	
コミュニケーション力	具体的なソーシャルワーク場面及びソーシャルワークの過程を想定した事例において、グループ間に意見交換をまとめることができる。				実技発表 グループ発表	20% 10%	
協働・課題解決力							
多様性理解力							
出席					受験要件		
合計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<p>この授業では、担当教員がそれぞれ少人数クラスを受け持ち、15回の授業を展開する。課題レポート(20%)及びその実技発表(20%)では、学んだ専門的な援助技術を正しく理解し、応用できるかを評価する。文字数不足及び誤字、脱字は減点の対象とし、未提出の場合は単位認定を行わない。グループワーク(20%)では、基本的なコミュニケーション技術を活用しながら、有意義なディスカッションに貢献できたかを評価する。小レポート(20%)では、グループワークの成果を適切にまとめられるかを評価する。グループ発表(20%)では、グループワークの成果を適切にプレゼンテーションできるかを評価する。フィードバックはその都度、授業内で行う。</p> <p>なお、不適切な授業態度(教科書を持参しない、遅刻、私語、携帯電話等の使用、居眠り等)は、発覚した場合に減点の対象となる。</p>							
授業の概要							
<p>事例を題材としグループワーク及び実技を通して、ソーシャルワークの対象課題と展開過程への理解を深める。具体的なソーシャルワーク場面及びソーシャルワークの過程を想定した実技指導により、分野横断的な総合的かつ包括的な支援技術の実技演習を行う。</p> <p>本科目の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、45分とする。</p>							
教科書・参考書							
<p>教科書：一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集(2021)『ソーシャルワーク演習(社会専門)』中央法規出版</p> <p>参考書：一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集(2021)『ソーシャルワーク演習(共通科目)』中央法規出版</p> <p>指定図書：一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集(2021)『ソーシャルワーク演習(社会専門)』中央法規出版</p>							

授業外における学修及び学生に期待すること			
グループワークを実施するため、教科書の該当箇所及び事例を事前に読んでおくこと。 グループのメンバーを尊重し合いながら、積極的に発言すること、調べること、書くこと。			
回	テーマ	授業の内容	予習・復習
1	オリエンテーション DVD事例の検討と <u>基本的な面接技術</u>	授業の進め方、評価等の確認を行う。また、DVD事例を見ながら、基本的な面接技術と利用者の情報収集を行う。	予習：演習Iを振り返る 復習：授業の振り返りをレポート提出
2	<u>ケース発見とインテークアセスメント①</u>	・前回DVDの事例を通してケース発見の目的と特性について体験的に学ぶ。 ・前回のDVD事例の情報収集と分析を行う。 (エコマップ、利用者の生活歴、社会的資源把握など)	予習：教科書①26-33頁 復習：授業の振り返りをレポート提出
3	<u>アセスメント②</u>	事例を通してソーシャルワークにおける利用者の情報収集と分析について体験的に学ぶ。	予習：教科書33-39頁 復習：授業の振り返りをレポート提出
4	<u>プランニングと支援の実施およびモニタリング</u>	事例を通してソーシャルワークにおける支援計画の立て方と支援実施、モニタリングについて体験的に学ぶ。	予習：教科書40-47頁 復習：授業の振り返りをレポート提出
5	<u>支援の集結と事後評価及びアフターケア</u>	事例を通してソーシャルワークにおける計画実行の支援結果の評価およびアフターケアについて体験的に学ぶ。	予習：教科書48-51頁 復習：授業の振り返りをレポート提出
6	<u>虐待支援とアウトリーチ</u>	虐待事例(児童・障害者・高齢者など)について、ソーシャルワーク過程に沿って体験的に学ぶ。	予習：配布資料を読む 復習：授業の振り返りをレポート提出
7	<u>貧困とソーシャルアクション</u>	貧困事例について、ソーシャルワーク過程に沿って体験的に学ぶ。	予習：教科書234-237頁 復習：授業の振り返りをレポート提出
8	<u>ひきこもり支援</u>	ひきこもり支援について、ソーシャルワーク過程に沿って体験的に学ぶ。	予習：教科書64-67頁 復習：授業の振り返りをレポート提出
9	<u>認知症支援とネットワーキング</u>	認知症支援について、ソーシャルワーク過程に沿って体験的に学ぶ。	予習：教科書217 復習：授業の振り返りをレポート提出
10	<u>終末期ケア支援とチームアプローチ</u>	終末期ケア支援について、ソーシャルワーク過程に沿って体験的に学ぶ。	予習：教科書242頁 復習：授業の振り返りをレポート提出
11	<u>災害時支援とコーディネーション</u>	災害時支援について、ソーシャルワーク過程に沿って体験的に学ぶ。	予習：教科書242頁 復習：授業の振り返りをレポート提出
12	<u>障害者就労支援とネゴシエーション</u>	障害者就労支援について、ソーシャルワーク過程に沿って体験的に学ぶ。	予習：配布資料を読む 復習：授業の振り返りをレポート提出
13	実技発表の練習	指定の事例に対してグループ単位で作成した課題レポートの発表を準備する。(課題レポート作成と提出)	予習：実技発表の準備 復習：実技発表の自己評価
14	<u>プレゼンテーションとファシリテーション①</u> (全体会)	指定の事例に対してグループ単位で作成した実技発表の提出及び評価を行う。(グループ1～3)	予習：発表の準備 復習：評価の振り返り
15	<u>プレゼンテーションとファシリテーション②</u> (全体会)	指定の事例に対してグループ単位で作成した実技発表の提出及び評価を行う。(グループ4～6)	予習：発表の準備 復習：評価の振り返り